

レッドオーシャンになってしまったSASEソリューション

有名な製品を選択したいが、当社には費用が高い

クラウド経由でのアクセスでは遅延が発生するという話も聞く



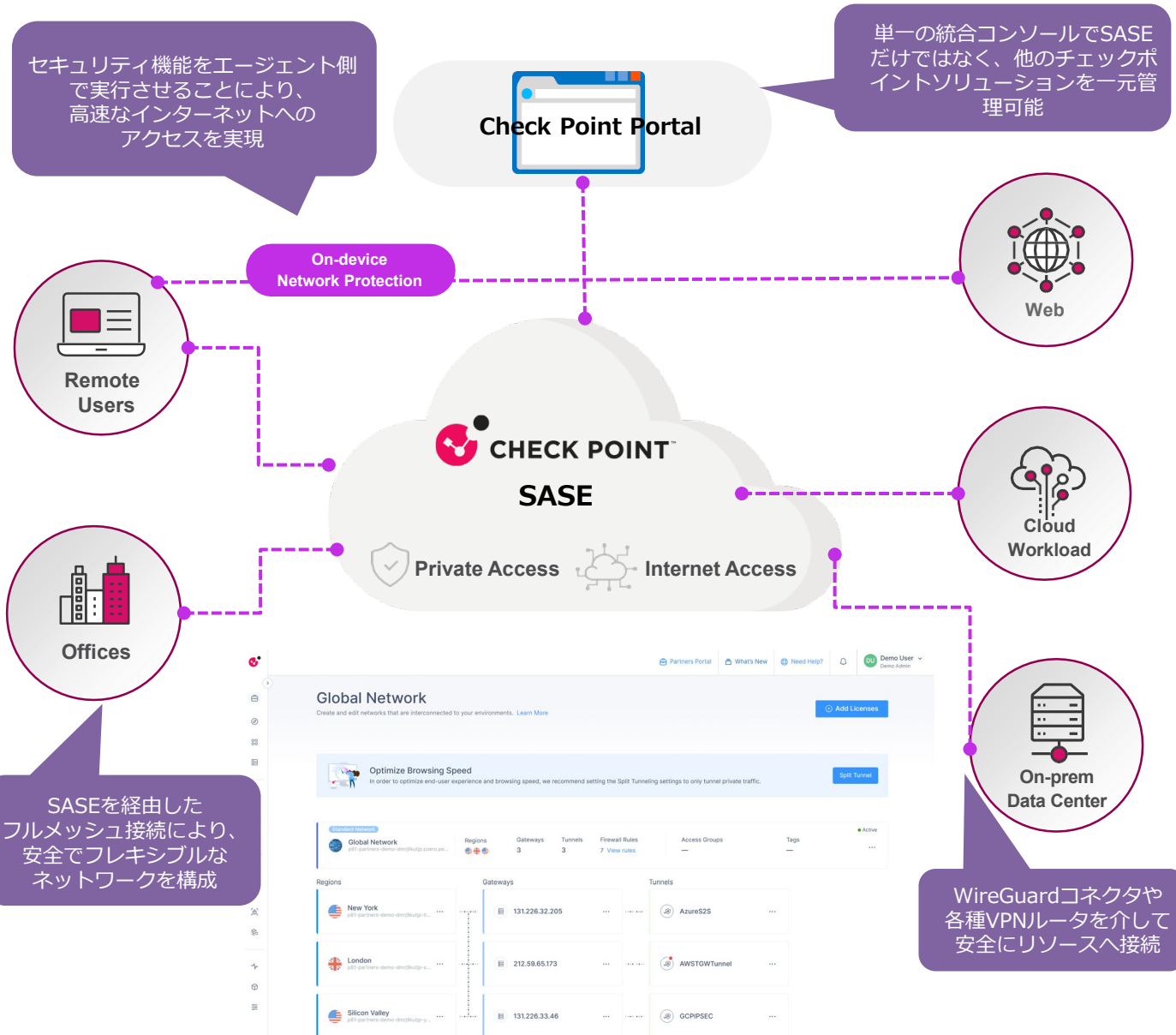
ゼロトラストを前提としたネットワーク構築を行うのはハードルが高そう

製品によって管理コンソールが異なり、運用が大変そう

SASE –Internet Access/ Private Access–

セキュリティ機能をエージェント側で実行させることにより、高速なインターネットへのアクセスを実現

単一の統合コンソールでSASEだけでなく、他のチェックポイントソリューションを一元管理可能

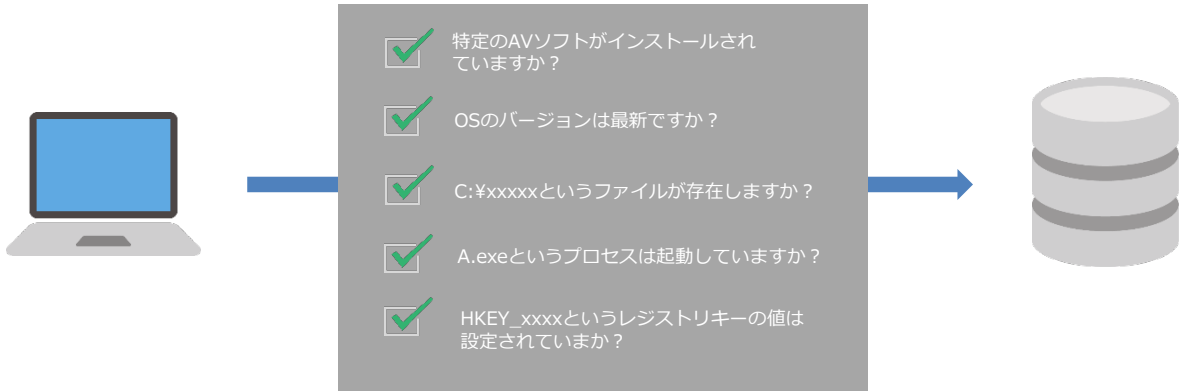


SASEを経由したフルメッシュ接続により、安全でフレキシブルなネットワークを構成

WireGuardコネクタや各種VPNルータを介して安全にリソースへ接続

きめ細かなデバイスポリシーチェック

ゼロトラストモデルでは、認証と継続的な認可が必要となります。SASEでは社内リソースに接続するタイミング、または一定の間隔で、きめ細かなデバイスポスチャーチェックを行い、接続端末の状況をモニターすることで、厳格なアクセス制限を実現します。



脅威はウェブからやってくる。ブラウザ拡張による充実したセキュリティ保護

Internet Access用の上位ライセンスでは「Browser Security」と呼ばれるブラウザ拡張機能の製品が付属し、様々なセキュリティ機能によりブラウザでのアクセスを保護します。

- URLフィルタリング
- 未知のフィッシングサイトを検知するゼロフィッシング機能
- ダウンロードしたファイルの検知・無害化
- 検索エンジンの検索結果から、怪しいサイトをランク付け
- 組織外のサービスにおけるパスワードの使いまわし検知
- 機密情報の外部流出を防ぐ細かなDLP機能

ワールドワイドで3,000社以上の導入実績

2018年のサービス提供から、3,000社以上での導入実績を誇る安心・安定したソリューションです。

